

事務事業マネージメントシート

作成日 令和3 年 04 月 15 日

事務事業名	民生委員・児童委員事業	担当	健康福祉部 社会福祉課 社会福祉係
政策名	02 「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	施策名	10 共に支えあう地域福祉の推進
成果指標	<p>名称</p> <p>民生委員・児童委員（社会福祉協力員）研修 民生委員活動件数</p>	<p>単位</p> <p>日 件</p>	<p>2 年度実績</p> <p>5 6,379</p>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 社会奉仕の精神を持って、常に住民の立場にたって相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に寄与することを目的に設置された民生委員・児童委員（厚生労働大臣が委嘱）の活動を支援する。 市は、民生委員・児童委員を社会福祉協力員として委嘱している。 委員数154人。任期3年（令和元年12月1日から令和4年11月30日まで） 無報酬（ただし、活動に必要な費用弁償が支給される。） 活動費用弁償（年額）会長85,920円、副会長(5人)80,920円、委員(146人)64,000円 		
2 年度 実績・成果・課題	<p>【実績】2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民児協役員会1回・全体会議1回、主任児童委員部会1回 総会・全体研修会、高齢者部会、社会福祉部会、児童母子部会（新型コロナウイルス感染防止のため中止） 高齢者実態調査等により現状を把握し、相談、助言等、自主的に活動している。 <p>【成果】地域の相談役として活動しており、課題を抱えている個人・世帯状況の把握や迅速に支援等への繋ぎを実施しており、細やかな対応ができる。</p> <p>【課題】民生委員の認知度が低い（R2.11地域福祉計画作成のためのアンケートでは36.2%が知らないと回答。 支援が必要であっても支援を求める方や、複雑多岐にわたる課題を抱える個人・世帯に対する対応が困難。</p>		
今後の方向性と 具体策	<p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的絞込み <input type="checkbox"/>目的拡充 <input type="checkbox"/>事業統廃合 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>予算増大 <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p> <p>【具体的な改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員・児童委員及び主任児童委員の認知度が低いため、HP・週報・啓発用品配布等を活用し、気軽に相談できる地域の福祉活動者として周知を続ける。 民生委員・児童委員、主任児童委員と市の双方の情報提供を行う。また実態の把握や早期対応可能な体制を検討する。 		